

# 和歌山盲学校 令和7年度 第1回学校運営協議会記録

開催日時:令和7年5月19日(月)

10:00~12:00 和歌山盲学校会議室

出席者:委員7名、

傍聴人(本校職員等)6名

協議会趣旨:和歌山盲学校の幼児児童生徒の育ちを支えるため、学校の現状や課題を共有し、学校、家庭、地域が互いの役割を活かしながら協働して特色ある学校づくりを推進する。

○委員・事務局自己紹介

○会長・副会長選出(会長:太田委員、副会長:松下委員)

## 【1 説明「今年度の学校運営方針について」】

○校長より今年度の学校運営方針について説明

・「もっといい和盲」に向け、次の取組を進める

- ① 教育目標の見直し
- ② 育友会・生徒会・学校運営協議会の活性化
- ③ 授業づくりは学校づくりの実践
- ④ センターの機能のさらなる充実
- ⑤ キャリア教育の充実  
(視覚障害者の自立と社会参加)



○質疑

Q:卒業生の進路について

A:大学進学、就職、福祉的就労等。福祉的就労事業所で、視覚障害がある生徒の受け入れ先拡大が課題。事業所の方に学校を見学していただき、視覚障害について知っていただく機会を設けたい。

教員も参加して、意見を出し合っています！学校の外からの意見に多くの気づきがありました。

## 【2 グループ協議】

○委員及び参加した教員が2つのグループに分かれ、2つのテーマについて協議

- ①「キャリア教育の充実について」
- ②「育友会・生徒会・学校運営協議会の活性化について」

○出された意見

### ① キャリア教育の充実について

・学校として、働きたい気持ちや自信を育てる。本人、保護者と情報を共有し「選べる」ような進路指導の実現を！

・まだまだ社会に対して、視覚障害の理解を働きかける必要がある。どんな手立てがあればよいか、知ってもらうことが必要。

・校内では小学部で給食の食材の豆向きの役割を果たす場面を作った。誰かの役に立ち「ありがとう」と言ってもらえる経験が大切！

### ② 育友会等の活性化について

・盲学校を知ってもらう機会をたくさんつくる。

・紀伊団地や大学生等、外部講師をたくさん招いては？

・以前は紀伊団地と盲学校の交流があったが、今は薄れている。老人会の方等は昔から盲学校と交流をしていたので、学校への理解がある。学校に招いてマッサージの施術をしたりおもてなし活動をしたりしてはどうか。



⇒2つのテーマを話し合っている中で、共通しているなどと思うキーワードもたくさん出てきました！

最後に太田会長より「もっと・もっといい和盲にしていきたい。そのためにも、協議会は本気で盲学校を応援する。学校も本気で協議してほしい！」という力強いメッセージをいただきました。今回、協議いただいた意見をもとによりよい学校運営を進めていきます！

